



～ 夢ひとすじに ～

# 宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 28 年度 第 10 号  
平成 29 年 2 月 1 日 (水) 発行  
さいたま市立宮原中学校

メールアドレス

miyahara-j@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス

<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

## 「心が決める、Heart Words！」

校長 小林 広利

甘えることと頼ることは違います。甘えることは、年齢の小さな子どもたちが得意とすること。年齢の小さな子どもたちの成長には必要なことです。自分が認められることはうれしいことですし、自分を守ってくれる誰かがいて、心が折れそうになった時に、思いきって甘えてみることは、中学生の皆さんでも必要なときがあるでしょう。しかしそこから、自分の弱さも理解し、自分のよさや強さを見つけ出していくことができるとするならば、その甘えは、とてもすばらしいものです。それはいわゆる頼るということだと思います。しかし、自分を見つめようとする姿勢をもつことなく、何かに甘えるだけならば、その甘えは年齢の小さな子どもたちの甘えに等しくなってしまう。3年生は、今、中学校卒業後の進路決定に向けた追い込みです。自分が悩んでいることや分からないことを話したり聞いたりしながら、よく考えて、自分の責任で自分の生き方を決めてほしいと思います。先生でも、家族でも、友達でも、地域の方々でも信頼できる人を頼り、様々な意見を聞きながら、自分の人生を真剣に考えて勉強に励んでください。2年生や1年生の皆さんも進路は3年生だけのことではありません。職場体験学習や職業調べ、上級学校調べなど、多くの人たちの協力を得て、働くことや学ぶことについて、今までも学習してきました。進路の選択とは、単に学校を選ぶだけではなく、将来の夢や職業を思い描き、これまでの体験や情報をもとに自分の生き方を考えることから始まります。そして目的をはっきりさせて学ぶことで、自分を生かす道はさらに広がると思います。是非、決意を実行に移していきましょう。

さて、今まで進学していった先輩方に「中学校と進学先の学校（高等学校等）との違い？」を聞いてまとめたことがあります。記録に残っている範囲で記入してみます。

- ①「中学校は義務教育です。しかし、これから先は義務教育ではありません。だから、これからは、友達が受験するから自分も受験したではなく、意思をもって学ぶべきだと感じました。」
- ②「自由度の違いじゃないでしょうか。その分、危険なことにも巻き込まれる可能性はあると思います。自分で判断をする機会が増えるのかな？ 行動に責任をもつというか！」
- ③「高校では学習量が増えるのは確かだと思う。高校の授業は中学に比べると進度が速い。」
- ④「中学時代の英、数、国、理、社も細分化され、科目数が増えることに驚いた。その結果、定期テストの範囲や暗記量が膨大に増えた。つまり、勉強が大変！」
- ⑤「専門学校の高等課程に進学しましたが、中学とは比較にならないほど皆がやる気に満ちていました。自由な分、それは自分で何かをしなければならない自由だと感じました。」
- ⑥「今まで生きてきたなかで、(高校入学後の)この1年間は最も重要な1年間だったような気がする。まとまらないが、とにかく、この1年間は最も重要だったような気がする。」
- ⑦「部活動が違う。活動内容、活動日数、練習試合だって遠征ばかり。疲れるが、充実！」
- ⑧「中学の頃よりも通学時間が長くなった。部活を始めると帰宅時間が夜遅くなるが、勉強もしないといけない。あっという間に1日が終わる。どうしよう！」
- ⑨「この1年間と過去(中学校時代)との違いは、勉強や部活動などの内容ではない。それは“心が決める時間”だった。“心が決める時間”とは、自分で時間の使い方を決めて責任をもつということ。その使い方が高校生活を大きく左右する Heart Wordsだ！」

最後の先輩が言っていたように「入学する生徒を大きく変えていく“心が決める時間”」というものが、高校生活の入り口のところに待っているようです。その使い方は、自分次第であり、よりよい使い方のヒントは、他の先輩の言葉からも読み取れるかもしれません。3年生はもちろん、2年生や1年生の皆さんも進級に当たり、時間の使い方をもう一度考えてみてはいかがでしょうか。